

# 神戸市山田町の蛾数種

松本健嗣

北区山田町に於いて筆者が採集した蛾については、以前本誌第4巻1・2号(1975)にNotodontidaeを、藍那地区自然環境調査(兵庫県自然保護協会鈴蘭支部1979)にNoctuidae, Aegeriidae及びAdelidaeを報告したが、他に目に付いたもの若干を述べると

1) *Epiricania hagoromo* Kato ハゴロモヤドリガ

1973年9月3日 1♂昼間。

1974年8月28日 幼虫1ex. 採集、8月30日夕刻造繭、9月7日羽化(♀)。

1974年9月14日 幼虫1ex. 採集、9月17日夜造繭、9月28日羽化(♀)。

1974年9月18日 幼虫1ex. 採集、9月18日夜造繭、10月1日羽化(♀)。

1978年8月4日 幼虫1ex. 採集、4日後に死亡。

他垂水区名谷町でも採集しているが器内で羽化したものはメスばかりであった。

上記の寄主はいずれもベッコウハゴロモ(*Ricania japonica*)で、これはどこにでもいる普通種だが、この蛾の寄生を受けたものは湿潤な谷間のような場所に多く見出される。翅長は4—6.5 mmと個体差がかなり著しい。上記の採集例は宇原野山の街、藍那でのものである。

2) *Cataprosopus monstrosus* Butler マエグロノメイガ

1973年7月25日 2♂♂ 山ノ街夜間

3) *Peridea aliena* Staudinger ニトベシヤチホコ

1973年8月7日 1♂ 山ノ街夜間

4) *Dasychira nachiensis* Marumo ナチシタキドクガ

1973年8月6日 1♀ 山ノ街夜間

5) *Nyctemera plagifera* Walker モンシロモドキ

1971年7月15日 1♀, 他1ex. 目撃、山ノ街昼間

1972年8月 1日 1ex. 目撃山ノ街昼間

1973年8月 7日 翅を拾う。北甲栄台町

1977年9月15日 1♀ 神戸電鉄山ノ街駅前昼間卵を産んだのでキク科Aster属の一種で飼養したが11月迄に全部死亡。当地では定着できず、ほぼ連年南方より飛来するものらしい。

6) *Poecilocampa populi tamanukii* Matsumura ウズミカレハ

1974年12月14日夜藍那で2♂♂1♀採集、器内で交尾産卵(約30個)、1975年4月14日全部ふ化、5月18日1ex. 造繭(他は皆死亡)、11月30日羽化(♂)、これはコナラで

飼育したもの。

兵庫県内では山間広葉樹林に広く分布していると思われるが、成虫出現期が遅く、且つ短かく、特にメスは成育場所から至近距離にある灯火にしか飛来しないため採集し難いものである。本種の食餌植物としてはこれ迄に針葉樹を含む多くの木本植物が知られているが、卵越冬種の特徴として、ふ化後間もない幼虫は好んで新芽を食う習性が著しく、以前、冬芽の未だ固いヤマナラシの小枝を与えたところただちに芽内に食入し、出て来て間もなく脱皮し第2令となった。筆者は未だ野外で幼虫を得たことはないが、当地山田町では、状況から推定して、食樹はコナラ（群生地に限る）と見るのが妥当だろう。

#### 参考文献

- 2). 3). 東 正雄 京阪神の動物（六月社1965）
- 5) 富士原 芳久 新昆虫1956年9月号（北隆館）

(7-VIII-1981)

## 男鹿島のクロシオキシタバ

松本健嗣

クロシオキシタバ (*Catocala kuangtungensis* Mell) は1960年代にはたいへん珍らしがられた蛾であるが、今では東海以西のウバメガシ林には大抵いることが知られている。筆者が家島町男鹿島で本種を初めて採集したのは1967年7月23日であったが、のち1969年3月の山火事により島の山林の大半が焼失し本種も姿を消していたが、その後島の植生は徐々に複元し、本年（1981）7月24日に訪れた際本種2exs. を目撃した。なお盛夏時には樹液を求めて海を渡り 姫路方面（或いは小豆島）へ移動するものらしい。

## 西宮市角石町で採集した蛾類数種の記録

芦田 久

東六甲の山麓にある甲陽高校（西宮市角石町3-138）に通うようになって通学途中や学校内で多数の昆虫を得ることができた。蛾類は校舎3階の窓を1つ開け20Wブラックライトを2本取りつけ、